(12) 特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局

(43) 国際公開日
2007 年4 月19 日 (19.04.2007)

PCT

(10) 国際公開番号
WO 2007/043698 A1

(51) 国際特許分類:
A01N 1/02 (2006.01)

(21) 国際出願番号: PCT/JP2006/320796

(22) 国際出願日: 2006 年10 月12 日 (12.10.2006)

(25) 国際出願の言語: 日本語

(26) 国際公開の言語: 日本語

(30) 優先権データ:
特願 2005-299314
2005 年10 月13 日 (13.10.2005) JP

(71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): 株式会社大塚製薬工場 (**OTSUKA PHARMACEUTICAL FACTORY, INC.**) [JP/JP]; 〒7728601 徳島県鳴門市撫養町立岩字芥原１１５ Tokushima (JP).

(72) 発明者; および
(75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 小柴 貴明 (**KOSHIBA, Takaaki**) [JP/JP]; 〒6068501 京都府京都市左京区吉田近衛町 国立大学法人京都大学大学院医学研究科内 Kyoto (JP). 趙 向東 (**ZHAO, Xiangdong**) [CN/JP]; 〒6068501 京都府京都市左京区吉田近衛町 国立大学法人京都大学大学院医学研究科内 Kyoto (JP). 和田 洋巳 (**WADA, Hiromi**) [JP/JP]; 〒6068501 京都府京都市左京区吉田近衛町 国立大学法人京都大学大学院医学研究科内 Kyoto (JP). 中村 隆之 (**NAKAMURA, Takayuki**) [JP/JP]; 〒6068501 京都府京都市左京区吉田近衛町 国立大学法人京都大学大学院医学研究科内 Kyoto (JP). 田中 紘一 (**TANAKA, Koichi**) [JP/JP]; 〒6060005 京都府京都市左京区岩倉南池田町２６ Kyoto (JP).

(74) 代理人: 高島 一 (**TAKASHIMA, Hajime**); 〒5410044 大阪府大阪市中央区伏見町四丁目１番１号 明治安田生命大阪御堂筋ビル Osaka (JP).

(81) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IS, JP, KE, KG, KM, KN, KP, KR, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LV, LY, MA, MD, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PG, PH, PL, PT, RO, RS, RU, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, SV, SY, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, ZA, ZM, ZW.

(84) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LS, MW, MZ, NA, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, NL, PL, PT, RO, SE, SI, SK, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

規則4.17に規定する申立て:
— 不利にならない開示又は新規性喪失の例外に関する申立て (規則4.17(v))

添付公開書類:
— 国際調査報告書
— 不利にならない開示又は新規性喪失の例外に関する申立て

２文字コード及び他の略語については、定期発行される各*PCT*ガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語のガイダンスノート」を参照。

(54) **Title:** SOLUTION FOR PRESERVING LIVER

(54) 発明の名称: 肝臓保存液

(57) **Abstract:** It is intended to provide a solution for preserving liver which contains trehalose and dibutylyl cAMP. It is preferable that the content of nitroglycerin in the above preservation solution is lower than 0.44 mM. In the above-described solution for preserving liver, the toxicity of nitroglycerin arising in preserving liver is relieved, which makes it possible to transplant the liver at a high graft survival rate.

(57) 要約: 本発明は、トレハロース及びジブチリルｃＡＭＰを含有する肝臓保存液を提供する。該保存液中のニトログリセリンの含有量は、好ましくは０．４４ｍＭを下回る。本発明の肝臓保存液においては、肝臓を保存する場合に生じるニトログリセリンによる毒性が改善されているので、高い生着率で肝臓移植を行うことが可能となる。

WO 2007/043698 A1